

3

【1 限目】

9:00

- 出席、冒頭挨拶、授業資料 Web ページにアクセスして「本日のタイムスケジュール」を確認。
- もし、遅刻した日は、どのように受講するか？ → 基本的に、次の「meet 再接続」の時間から合流してください。
- 本日視聴する「動画 06、講義 2」のポイントの確認。映像の最後に「さらなる知識のために」の画像を収録し忘れたこと。

9:15

- 授業動画視聴 - 開始（約 1 時間 00 分） 動画の URL は、このタイミングで meet のチャットで連絡します。

■動画 06『【講義 2】古代ギリシャ時代において、音楽とはいかなるものであったか』[01:00:48]

- 視聴中 meet 切断も可

【講義内容の各自でのまとめ、休憩】

10:30 頃～10:45

【2 限開始】

10:45

- (meet 再接続) ← 遅刻者はここから参加のこと。その際、各自で「受講上の知りたい情報」をチャット等で問い合わせること。
- 質問受けなど
- 「打ち込み練習課題」の完成度チェックに関する連絡。URL 連絡 2 点（1. 提出用 Google Drive, 2. 完成度チェック管理シート）。

11:55

- 各自で「打ち込み練習課題」のための作業の開始。
- 「タイ」と何か？ 打ち込みではどのように処理するか？ → 必要な人は、動画 05 で確認すること。
- 「打ち込み練習課題」が「完成度チェック」によって「完璧」と判定された人は、レポート執筆のための作業に取り掛かること。

- ex1.) 講義動画などを見直して、自分のレポートで取り上げる「トピック」を暫定的に選ぶ。
- ex2.) その「トピック」について大まかな知識を得るために、Web で予備調査をする。メモにまとめておく。
- ex3.) その「トピック」を調べる上ででてきた「用語」をあらためて、辞書で意味を調べ直してみる。間違った解釈はしていないか。
- ex4.) その「トピック」を調べる適切な資料を探す（Web ではなく、なるべく書籍で）。どこの図書館で入手できるか調べる。
- ex5.) その「トピック」の専門家は誰かを調査する。
- ex6.) その「トピック」が、美術分野とどう関わりがあるかを考えてみる。考えたことをメモに残す。
- ex7.) 一般的な「レポートの書き方」を調査する。ワープロソフトでの注釈の付け方を確認する。

- 作業中 meet 切断も可

12:05

- meet 再接続

- ・来週の連絡、授業終了

以上